

02・体調不良を黙っていた罰として、耳舐め乳首コキクリイキの三点責めセックスをされる

トラック01『怪しい薬を浴びたので、催淫状態などになる』からそのまま続き。
外は雨。18時すぎ。

SE1 外の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【部屋の外の音を、部屋の中から聞いている】

【トラック01のSE1と同じ音だが、開始位置を変えて流す】

【0—10秒ほど流してSE2】

【その後、音量が小さくなる】

【ごく小さな音量で流す】

【場面転換するまで流し続ける】

SE2 クロエがベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、主人公にキスする。

● 正面 0センチ

「【※3回※】キスする。

軽く触れるだけのキス」

……ちゅ。ちゅ。ちゅっ……」

〈主人公〉

「あの……」

● 正面 0センチ

「『『なあに？』と尋ねる『何々？』』
何々？」

〈主人公〉

「えーっと……その……」

おしおき、って……」

クロエ、『左 0センチ』に移動して話す。

● 左 0センチ

「ひそひそと。少し意地悪にセクシーに。

聞き手をギャップでドキドキさせるイメージで」

そうだよ？

あなたはこれから、あたしにおしおきされちゃうの。

「ひそひそしつつ、普段の口調寄りの話し方に戻る。

主人公とセックスしたいのは正直やまやまだが、それよりももっと確認しておくべき事があるの」

……ところで。

まず、何罪（なにざい）かわかってる？」

〈主人公〉

「こっそり出歩いて、それを『そっくりさん』なんて言っ

ごまかそうとした罪……？」

クロエ、『正面 15センチ』に移動して話す。

● 正面 15センチ

「『ちよっと』『キリッ』とした感じで始める。

その後『……では、なくて』でトーンを変える。

コミカルな感じで。

自分が怒っていて、主人公に改めてほしいと思っている点について詳しく述べる。

しかしむろん怒っているわけではない。この件を終わらせる前の、最後の確認のような
「**感じで**」

そう。あなたの罪（つみ）は、あたしに隠し事をしてた事……では、なくて。

いくら人の為とはいえ『こんな体調の中、こそこそ仕事に出た罪（ざい）』。

さらにそれを『存在しないそっくりさんの仕業って事にしようとした罪（ざい）』です。

これ。なかなかの重罪だよ。

悪いって思ってる？」

〈主人公〉

「……思ってるわ……。ごめんなさい」

●正面 15センチ

「かわいく、深く頷く。

そして、さらっとこの件を済ませる。

この『無理はしないほしい』という事は、どうしても伝えておきたいので
うむ。よろしい。

それだけわかってくれたらいいの。
もうどうか、無理はしないでね」

〈主人公〉

「肝に命じます……」

●正面 15センチ

「【にっこりと嬉しそうに。満足げに】
うん♪

【優しい声になって】

……じゃあ、あたしも。

【あまりトーンは変えないが、改めてきちんと謝る。

自分にも至らない点が多数あったと思っているので」

ごめんなさい。

ごめんね。もっと早く助けてあげられなくて。

三日間、ずっと苦しかったでしょう。

あたし、あなたの彼女なのに、すぐに何（なん）とかれてあげられなくてごめんね」

〈主人公〉

「いいえ。あなたは悪くないわ。……全部わたしが悪いのよ。

わたしがあんな無茶をしなければ、こんな事にはならなかったわ」

●正面 15センチ

「優しく、諭すように。

クロエは主人公がした事を『何も間違っていない』『主人公らしく、誇らしい行為』だと思っているのです」

ううん。それは違うよ。

あなたは間違った事なんてしてない。

薬品の事故からあの子を守った事も、そのせいで色んな薬を浴びちゃった事も。

「ちよっただけコミカルに。」

『間違った事はしていない』と思う事と『心配なので、あまり無茶はしないでほしい』という思いは両立するので」

……まあ、心配はしたけど。

【再び優しく、諭すように。

少しゆっくり目に。

クロエは主人公がした事を『何も間違っていない』『主人公らしく、誇らしい行為』だと思っているので」

あなたが『いい』って思う事をした結果なんだから、それでいいの。

それに……あたしがもしあなただったら、同じ事をしてたんじゃないかな、って思うよ。だからあたしは、こうなった事自体には怒ってないし……。

あなたのそういうところ、好きだなあって思ってるよ」

〈主人公〉

「クロエ……」

● 正面 15センチ

「【明るく、優しく。

思えば主人公は、昔から変わらないので」

昔から変わんないよね！

あな た っ て。『これだ！』って決めると、もう足が動いてるんだもん。
まあつまり、それがあな た なんだと思う。
だから、いいんだよ。

【明るく、優しく。

改めて主人公をねぎらう】

今日まで、よく頑張ったね。よく耐えました」

〈主人公〉

「クロエ……！」

SE3 主人公が抱き着く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、近づく。

抱きつかれた事により、右耳に話しかける形になる。

● 右 Oセンチ

「【少し驚いて。主人公がいきなり抱きついてきたので】
あ……。」

【優しく微笑む】

ふふ。よし、よし。

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅっ♡」

〈主人公〉

「本当はわたし、怖くて、怖くて……!」

● 右 0センチ

「【優しく相槌を打つ】

うん」

〈主人公〉

「お医者様やあなたのおっしゃる通り、この薬の作用自体は大した事がないとわかっているの」

● 右 0センチ

「優しく相槌を打つ」

……うん」

〈主人公〉

「でも、それでも。自分の身体が自分のものではないようで。ずっと、怖かったの……！」

● 右 0センチ

「優しく。」

少しゆっくりめに。

主人公の言葉を肯定し、受け止める」

うん……そうだね。話してくれてありがとう。

そうだよね。

本当はどうにかなっちゃいそうで、不安だったよね。

大丈夫だよ。もうあたしがいるからね。

【薬の件について述べる。

クロエはこの件について既に調べており、特に危険はない事を把握しているので」

この薬の事……あたしも調べたんだけど。

多分あなたの予想通り、作用ははずれ抜ける。

だから、特に心配しなくても大丈夫なはず。

【少し間をあけてから。

しかし、完全に安心という訳にはいかない。

なので、あるかも知れない問題点について述べる」

ただ……問題は。

あなたが単に『催淫性の薬一種類だけを浴びました』ってわけじゃなくて。

他にも色々被っちゃってるせいで、他の……予想もつかない化学反応とかも、起きる可能性はあるって事なんだけど。

【言いかけて、やめる。

いたずらに可能性について言及しても、主人公を不安にさせるだけだろうと判断したので】

例えば……。

【優しく明るい声で。

主人公を安心させたいので】

……ううん。その辺は考えてもしようがない。前向きにね。

少なくとも、あたしが想定してる中で危険なものはないから。
どうしてもどうにもならなくなったら、また病院行こう？
その時はあたしも一緒に行くから」

〈主人公〉

「うん……！」

ううつ……ぐすつ……うわーん……」

SE4 クロエが移動する音

【最初から最後まで流す】

クロエ、『正面 15センチ』に移動して話す。

● 正面 15センチ

「【優しく微笑む】

ふふっ。

【優しく明るい声で。

主人公を安心させたいので】

あー。泣いちゃった」

SE5 クロエが主人公の背中を『ぽん、ぽん』と叩く音

【最初から最後まで流す】

【2回繰り返して流す】

【小さめの音量で流す】

【繰り返して流す】

【次の『クロエ』のセリフと同時に流し始め、セリフ終わりと同時にストップする】

● 正面 15センチ

「優しく明るい声で。」

主人公を安心させたいので」

よしよし。今日は甘えん坊さんだね。

ま、当たり前か。

今日まで怖かったよね。

【ゆっくりめに、優しく】

よしよし。よしよし。よしよし……」

クロエ、『正面 0センチ』に移動して話す。

● 正面 0センチ

「※1回※ キスする。

軽く触れるだけのキス」

ちゅっ」

クロエ、『左 0センチ』に移動して話す。

● 左 0センチ

「とても優しく。

主人公を安心させたいので」

もう、一人で悩まなくていいからね。

「※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス」

ちゅっ。

「とても優しく。

主人公を安心させたいので」

あたし達……付き合ってるんだから。

二人でなら、どんな事も。どうにだってなるんだからね。

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ♡」

SE 6 主人公がクロエの身体に自分の身体を擦り付ける音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【小さめの音量で流す】

【次の『クロエ』のセリフと同時に流し始め、▲1でストップする】

クロエ、『左 0センチ 上10センチ』に移動して話す。

● 左 0センチ 上 10センチ

「【※3回※ ゆっくりと呼吸する。

主人公の髪の毛の匂いを嗅いでいるイメージで】

ふうう……はあ。ふーっ……。

【※3回※ 髪にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ。ちゅ。ちゅっ♡」

クロエ、『正面 15センチ』に移動して話す。

●正面 15センチ

「優しく、でもにやにやと。

嬉しそうにからかう。

主人公がさっきから、自分の股間をクロエの身体に擦り付けてきているので」
ていうか……さっそく擦り付けてきてるし。

えっただ♡

そんなにしたかったの？」

〈主人公〉

「……♡」

クロエ、『左 0センチ』に移動して話す。

● 左 0センチ

「優しく、でもにやにやと。

嬉しそうに。クロエも主人公とセックスしたいので」

いいよ？　　しよ？

もう我慢できないんでしょ。　　いいよ　　♡

「※1回※　耳にキスする。

軽く触れるだけのキス」

ちゅ　♡

「優しく、でも少しセクシーに」

舌出して……？」

▲ 1　ここでS E 6がフェードアウトする。

クロエ、『正面　0センチ』に移動して話す。

● 正面　0センチ

「※しばらく※　キスする。

舌を出して、舌と舌をたっぷりくつつけるディープキス」
んっ……ちゅっ。

んっふ……れえろ……ちゅばっ。

れへろ……れへろ……じゅるっ♡

【口を離しながら、少し舌ったらずに。

『これ』が『こひえ』。

『くつつけて』が『くっひゅけへ』になる。

※厳密にこの通りでなくてOKです※】

ふふ。かーわいい。

こひえ、好きだよね……♡

べろとべろ……先っちよから付け根までくっひゅけへするキス。

【舌を出して、舌と舌をたっぷりくつつけるディープキス】

あんふ……じゅるっ♡

【口を離しながら、少し舌ったらずに。

『いいよ』が『いいひよ』。

『いっぱいしょ』が『いっぱいしょ』になる。

※厳密にこの通りでなくてOKです※】

いひよ。

いっひゃいしょ……？

【※しばらく※ キスする。

舌を出して、舌と舌をたっぷりくつつけるディープキス。

先程よりもねっとりしたイメージで】

んっ……♡ れれれ……。

んっふ……んくっ……ひゅふふ……っ……じゅるっ♡

れーろ……れーろ……れーろ……れーろ……。

れれれれ……ちゅふっ♡

れーろ……れーろ……れーろ……れーろ……。

【※5回※ 呼吸する。

苦しそうな興奮気味の呼吸から、だんだんゆっくりとした呼吸になる】

はーっ、ふーっ、はーっ、ふう。

ふううっ……。

【口を離しながら、嬉しそうに】

あたしのベロ……大好きだもんね……。

【※1回※ キスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ♡

【優しく、でも少しセクシーに】

もっとしよ……♡

【※しばらく※ キスする。

※キスしたまま※ 興奮気味に鼻呼吸する。

舌を出して、舌と舌をたっぷりくつつけるデープキス。

先程よりもねっとりしたイメージで】

んっふ……ちゅ♡

ちゅるるっ……ちゅぱっ♡

ふー、ふー、ふー、ふー。

はー、ふー、はーっ……ふーっ……♡

んっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

SE7 クロエが主人公の身体をまさぐる音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【次の『クロエ』のセリフと同時に流し始め、▲2 まで流し続ける】

● 正面 0センチ

「※しばらく※ キスする。

※キスしたまま※ 興奮気味に鼻呼吸する。

舌を出して、舌と舌をたっぷりくつつけるデ IPP キス。

先程よりもねっとりしたイメージで」

はーふう、はーふう、はーふう……。

ちゅ♡ えれれれ……ちゅ♡

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

はーふう、はーふう、はーふう。

はんむ……じゅるるる♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

〈主人公〉

「あぁ……♡」

クロエ、『左 0センチ』に移動して話す。

● 左 0センチ

「優しく、でも少しセクシーに微笑む」

ふふ♡

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ♡

〈主人公〉

「…………あの、クロエ…………♡」

● 左 0センチ

「【※3回※ 呼吸する。

うっとりとした呼吸】

はぁ、はぁ、はぁ…………♡

【くすくすと笑いながら、うっとり。

主人公の言葉を受けて、今自分がしている事を述べる】

うん…………触ってるよ？

あなたの口や耳にキスしながら…………おっぱい触ってる。

すごい、気持ちいい…………。

【※しばらく※ 耳舐めする。

軽く出し入れする、戯れるような耳舐め】

んっく……くぼっ♡

えれれれれ……ちゅぽっ♡

ちゅっぽ、ちゅっぽ。ちゅっぽ。ちゅっぽ♡

にゅっぽ、にゅっぽ、にゅっぽ、にゅっぽ♡

【※1回※ 軽く、ゆっくりと耳を吹く。

不意打ちで聞き手をびくつとさせるイメージで】

ふーっ……♡

【※1回※ 呼吸する。

興奮気味に息をつく】

はぁ……♡ ふふ、気持ちいい？

【優しくからかう。

主人公の胸を触りながら話している】

お耳されながらおっぱい触られるの……好きだもんね♡

こんな風に、持ち上げるみたいにして触られるの、好きだもんね♡

【少し不思議そうに。

主人公の胸が、何やら以前よりも大きくなっているような気がするので】

……でも。何（なん）か。ちよつとおつきくなった……？

張ってるだけ？

毎日あたしに触られて、おっぱい大きくなってきちやったのかなあ。

【※1回※ 耳にキスする。

わざと音を立てるキス】

ちゅ♡

まあ……気のせいかな。

【※1回※ 耳にキスする。

わざと音を立てるキス】

ちゅっ。

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねっとりした耳舐め】

はんむ……れれれ……ちゅばっ♡

くぼ、くぼ、くぼ。

ふーっ、ふーっ、ふーっ、ふーっ。

くふふふっ……くふっ♡ ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ。

ちゅこ、ちゅこ、れるっ♡

れれれれ……ぬぽっ♡

【優しくからかう】

あー。『ぴくっ』ってした。

【※1回※ 軽く、ゆっくりと耳を吹く。

先程よりも、軽く、弱いイメージで」

ふー……♡

【※2回※ 耳舐めする。

軽く戯れるようなイメージで」

れる、れるっ♡」

クロエ、『左 0センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「そつとささやく。」

「甘くそつと、でも少し悪戯っぽくささやく」

耳の中でこういう音立てられるとびくつとしちゃうの？

気持ちいいんだ。そうだよね♡

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねっとりした耳舐め」

れる、れる、れる。

れる、れる、れるっ……♡

【優しくささやく】

沢山しようね。できなかった分、全部しようね……♡

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねっとりした耳舐め】

ちゅぽぽぽぽ……ふちゅっ♡

くっぽ、くっぽ、くっぽ。

ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ……♡「※

クロエ、『左 0センチ』のまま話す。

● 左 0センチ

【「うっ」とりと興奮気味に】

はああああ……すごい興奮する。

【※3回※ 鼻呼吸する。

主人公のにおいをかいでいるイメージで】

はあ。すーっ……ふう。

【「うっ」とりと興奮気味に。」

あなたの身体、気持ちいい……♡

【うつとりと、ゆっくり目に】

あー。あたしの手え、おつきく育って良かった。
思いつきり触（さわ）れる……♡」

クロエ、『左 0センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく
「そつとささやく。」

甘くそつと、でも少し悪戯っぽくささやく。

乳首を服の上からいじりながら話しているイメージで」
うん。ちゃんとわかってるからね。

ここでしよう？ ここ。

ちよつと膨らんで、硬くなってるもん。

あなたは。ここを。親指で、やさしく。

くるくる、くるくるってされるのが好きなんだよね。

【※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、少し荒い呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあはあ。

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねっとりした耳舐め】
んっふ……ぴちやつ♥ ぴちやぴちやぴちや、ぴちやつ♥※

〈主人公〉

「……ああ♥」

クロエ、『左 0センチ』のまま話す。

●左 0センチ

「【にやにやと嬉しそうに。主人公が感じている事が嬉しいので】
なーに？ 服の上からで、もどかしいの？

こんなに……触られてるのに。足りない……？

ふふ。苦しそー……♥

そんなに触ってほしいんだあ。

じゃあ、自分で脱いだら……？」

▲2 ここでSE7がストップする。

SE8 主人公が服を脱ぐ音

【最初から最後まで流す】

〈主人公〉

「……♡」

主人公、自ら服を脱ぐ。上半身だけ裸になった状態。

クロエ、『正面 30センチ』に移動する。

●正面 30センチ

「【興奮気味に、少し驚いて。

主人公がすんなり自分から服を脱いだので】

あ……♡

なんか……凄いな。そんなにしたかったんだ……？
早すぎでしょ。

自分からおっぱい見せて、やらしー……♡

【※3回※ 呼吸する。

興奮気味に、ゆっくりと】

はー……はー……はー……♡

【興奮気味に、いとおしそうに】

その位、もう我慢できないんだね。

可愛いね……♡

【優しく。

もう我慢できないだろう主人公に、これからしてあげる事を告げる】

……うん。同時にしよ」

クロエ、『左 0センチ』に移動して『無声音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

【「優しく、でも少しからかうように」

早くイきたいもんね。薬のせいで、早くしてほしくてしょうがないもんねもんね♡

あなたが一番好きな。乳首とクリトリスさん一緒に触りながら。

キスしてイクやつ、しよう？

……下も脱いで」※

SE9 主人公が服を脱ぐ音2

【最初から最後まで流す】

主人公、自ら服を脱ぐ。今度は、ショーツだけ残した状態。

クロエ、『正面 30センチ』に移動する。

●正面 30センチ

「※1回※ 呼吸する。

ゆっくりと、興奮気味に」

ふううつ……♡

【うっとりと興奮気味に。

また、やはり胸が大きくなっているように感じる事を述べる】

ああ……すご。

ねえ。あなたのおっぱい。

やっぱ、なんかちよっと大きくなってるよ。

これも薬の作用かな？」

SE10 クロエが主人公の下着を脱がせる音

【最初から最後まで流す】

【次のクロエのセリフと重ねて流す】

●正面 30センチ

「【少し意地悪に。】

主人公がまだ下着を脱いでいなかったの。

脱がしながら話しているイメージで」

ほーら……ぱんっただけじゃだめだし。

こっちも、ちゃんと脱ごうね。

【※6回※ 呼吸する。

ゆっくりと、興奮気味に。

脱がしながら呼吸しているイメージで」

はあ、はあ。ふう。

はあ、はあ。

はあああっ……♡」

クロエ、『正面 30センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

●正面 30センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「優しく、でも少しからかうように」
裸になっちゃったね♥※

SE11 クロエがベッドの上で動く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、『正面 30センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

●正面 30センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「優しく、でも少しからかうように」

よしよし……♥ちゃんと触ってあげるからね。

ほら……後ろからしてあげるね♥※

SE12 クロエがベッドの上で動く音2

【最初から最後まで流す】

クロエ、『右 0センチ』に移動する。

● 右 0センチ

「少し低い声で。

興奮気味に、うっとり。

興奮のあまり声が低くなり、それが少しセクシーなイメージで」

あー……もう、すごい濡れてる。

濡れやすいよね。まだ、ほとんど触ってないじゃん。

それに、気持ちいいとすぐ力抜けちゃうよね。

ほんと弱すぎだよ……いつも、触られると、すぐ負けちゃうもんね♥」

クロエ、『右 0センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

● 右 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「うっとり優しく、実感を込めて」

でも……そういうところも可愛い。

好きだよ……一杯気持ちよくなるうね……♡」※

SE12 クロエが主人公の股間を愛撫する音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【▲3 で一段階音が大きくなり、速度が上がる】

【▲4 でさらに一段階音が大きくなり、速度が上がる】

【▲5 でさらに一段階音が大きくなり、速度が上がる】

【▲6 でフェードアウトする】

● 右 0センチ

「※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、ふーっ……♡

【少し低い声で。

興奮気味に、うっとり。

少しゆっくり目に。

興奮のあまり声が低くなり、それが少しセクシーなイメージで。

『ここ』『この子』等、これらはすべて主人公のクリトリスを指して言っている」

ああ……見つけた。すごい、熱くなって、勃（た）ってる♥

いつも思うけどさあ。

あなたのここって、ちっちゃくて可愛いよね♥

この子。こんなにちいちゃいのに、あなたの全身を簡単に気持ちよくしちゃうなんて、すごいよね？

あなたはいつも、この子こすこすされたら『んゝっ♥』ってなって、あっさりイっちゃうもんね。

あたしと付き合う前も、後も。

沢山一人でして、してイきやすい身体になったんだもんね♥

どうせこの三日間も、あたしに隠れて一人で一杯してたんでしょ♥」

〈主人公〉

「もお……♥ やめてよ♥」

● 右 0センチ

「くすぐすと嬉しそうに。」

優しくからかう」

やだ♥ やめない♥ 知りたいもん。

……ねえ。してたんでしょ？」

〈主人公〉

「……っ♥」

● 右 0センチ

「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※」

ほら、やっぱり♥

ああ……見たかったなあ。一人でしてるところ。

ねえ、今度見せて？ 一人えっちでいくところ見せて？

どんな風に触ってるか見たいの。ね？」

〈主人公〉

「やーだ。しつこい♥」

● 右 0センチ

「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※」

お願い♡ 今日、いくらでも気持ちよくしてあげるから。
ほら……こんな風に」

▲ 3 ここでSE12が一段階音が大きく、速度が早くなる。

〈主人公〉

「んっ♡ ダメえ……♡」

● 右 0センチ

「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※」

こんな風に、おっぱいの先摘（つま）まれながら……♡

クリさんを、ちよつと押されるみたいになされるのが好きでしょ？」

〈主人公〉

「んっ♡ ダメえ……♡」

● 右 0センチ

「くすくすと嬉しそうに。
優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※
えーダメえ？ 教えてくれないの？

ほんとに？ ふふふふ♡

【優しいが、有無を言わせないトーンになる。

ここから本格的に攻めていくイメージで。

※特に聞き手をドキツとさせるイメージでお願いします※

……でも、触っちゃう。

だって、おしおきだもん。

困ってた分、一杯気持ち良くしてあげる……」

〈主人公〉

「……あ♡」

● 右 0センチ

「※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸」

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ……。

【優しいが、有無を言わせないトーンになる。

少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモード」

んー……？ そんなに気持ちいい……？

かわいい……。

【※1回※ 耳にキスする。

わざと音を立てるようなキス」

ちゅ♡

【※しばらく※ 耳舐めする。

ねっとりとした、わざと音を立てているような耳舐め」

れんろ……れんろ……ちゅばっ♡

れーろれる、れーろれる、くぽぽっ♡

【優しいが、有無を言わせないトーンになる。

少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで」

そう……おっぱいも、お耳も、あそこも。

一緒に気持ちよくしてあげるから、イこう？

【※しばらく※ 耳舐めする。

ねっとりとした、わざと音を立てているような耳舐め」

れれれれれ……っふっ♡

ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ♡

ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ♡」

▲4 ここでSE12がさらに一段階音が大きく、速度が早くなる。

クロエ、『右 0センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「優しいが、有無を言わせないトーンでささやく。

少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで」

こうやって……あなたが一番好きな速さでクリさん擦りながら。
時々……こんな風に摘まんだり。ねじねじ……ってしたり。
乳首もしこしこしてあげるから……。

何も考えずに、イこ？

【※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸。

段々荒くなる】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ……。

【優しいが、有無を言わせないトーンでささやく。

少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで」

そうだよ……それでいいの。頭真っ白にして……イこ？
ぜーんぶあたしがしてあげるからね」※

▲5 ここでSE12がさらに一段階音が大きく、速度が早くなる。

クロエ、『正面 0センチ』に移動してキスする。

お互いに顔の角度を変えてキスしている。

●正面 0センチ

「※5回※ キスする。

ちゅぱちゅぱとした、ねっとりしたキス」

ちゅっ。ちゅっ。ちゅ ♡

ちゅるるる……ちゅっ ♡

クロエ、『正面 0センチ』のまま『無声音ささやき』をする。

●正面 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「優しく、少し余裕のない感じでささやく」

少しだけ早口になる」

いいよ……いいよ、イって。

いいよ……いいよ。いいよ ♡

このままキスしててあげる……んふっ♡

【※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸。

段々荒くなる】

はーふう、はーふう、はーふう。

【※3回※ キスする。

ねっとりとした、わざと音を立てているようなキス】

んっく……んーっふ……ん♡

【優しく、少し余裕のない感じでささやく。

少しだけ早口になる】

イこ……イこ。イこ。イーこ♡

【※しばらく※ キスする。

※キスしながら、苦しそうに鼻呼吸する※

ねっとりとした、わざと音を立てているようなキス】

ちゅっ♡ んっ♡ んんう……んっ♡

はーふう、はーふう、はーふう。

んっく……んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

ちゅ♡ ちゅっ……れろろろっ、ちゅっ♡

【※キスしながら、特に苦しそうに鼻呼吸する※
主人公の絶頂が近づいているので】

んっ……っ ん ん ん う…… ん ん ……

んーっ…… んっ ♥ ん ♥ ん ♥ ん ♥

んっ。 ん んっ…… ん ん ん ん うっ…… ♥

【※ここで主人公が絶頂する※

絶頂した事が比較的わかりやすい、喘ぐような呼吸】
ん ん ん ん うっ……！」※

▲6 ここでSE12がフェードアウトする。

SE13 クロエがベッドの上で動く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、『正面 30センチ』に移動する。

●正面 30センチ

「【※8回※ 呼吸する。

まだ口がふさがった、キスした状態で、苦しそうに鼻呼吸する※
段々ゆっくりになり、落ち着いていく】

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう……。

【ここで唇を離す】

ちゅぽっ♡」

SE14 クロエがベッドの上で動く音2

【最初から最後まで流す】

●正面 30センチ

「【※16回※ 呼吸する。

まだ苦しそうな呼吸。

段々ゆっくりになり、落ち着いていく】

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう……。

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう……。

【まだ余裕はないが、にやにやと嬉しそうに。

主人公が達してくれて嬉しいので】

ふふ……気持ちよかったね……♡

ほんとにあつという間にイっちゃったね……♡

【※1回※ キスする。

軽く音を立てるキス】

ちゅ♡

【※8回※ 呼吸する。

だいふ落ち着いてきた呼吸。

さらに段々ゆっくりになり、落ち着いていく】

はあああ……ふーっ。

ふーっ。ふーっ。ふーっ……。

ふうう、ふうう、ふううっ……」

クロエ、『左 0センチ』に移動して『無声音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「【まだ余裕はないが、にやにやと嬉しそうに。

主人公が達してくれて嬉しいので。

また、今夜はまだまだセックスしたいので】

まだまだ……いっぱいしようね♡

【※3回※ 耳にキスする。

軽く音を立てるキス】

ちゅ ♡ ちゅ ♡ ちゅ ♡
「

ここでフェードアウトして終了。